

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
専門学校穴吹デザインカレッジ		平成4年3月24日		森川 和哉		〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-6600			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日		穴吹 忠嗣		〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-2266			
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度			
工業	工業専門課程	グラフィックデザイン学科		平成15(2003)年度	-	平成26(2014)年度			
学科の目的		デザインツールによる実習を通して、デザイナーとしての基礎的な技術を習得し、豊かな想像力と確かな表現力を身につけたスペシャリストを育成する。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)		取得可能な資格(Illustratorクリエイター能力認定試験、Photoshopクリエイター能力認定試験、Webデザイナー検定、色彩検定)							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		1,700 単位時間	210 単位時間	1,490 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	
		単位		単位	単位	単位	単位	単位	
生徒総定員		生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)			
50 人		37 人		0 人		0 %			
就職等の状況		■卒業者数(C)		37 人					
		■就職希望者数(D)		31 人					
		■就職者数(E)		31 人					
		■地元就職者数(F)		25 人					
		■就職率(E/D)		100 %					
		■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		81 %					
		■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		84 %					
		■進学者数		0 人					
		■その他							
		(令和5年度卒業生に関する令和6年5月1日時点の情報)							
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載		無					
		評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL			
当該学科のホームページURL		https://web.anabuki-college.net/department/design/graphicdesign/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)		(A:単位時間による算定)							
		総授業時数		1,700 単位時間					
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間					
		うち企業等と連携した演習の授業時数		300 単位時間					
		うち必修授業時数		300 単位時間					
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間					
		うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		300 単位時間					
		(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位時間					
		(B:単位数による算定)							
		総授業時数		単位					
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位					
		うち企業等と連携した演習の授業時数		単位					
		うち必修授業時数		単位					
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位					
		うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位					
		(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位					
教員の属性(専任教員について記入)		① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号)		1 人			
		② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号)		3 人			
		③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0 人			
		④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号)		1 人			
		⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0 人			
		計				5 人			
		上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				3 人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ポスターデザイン、Webデザイン等のグラフィックデザイナーとして必要な基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につける。その過程で身につけた知識や技術を企業等から依頼があった作品制作に対し評価を頂き、社会に出て通用する人材を養成することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。デザイン業界や企業等に依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善検討を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案を編成しそれを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
鉄川 裕崇	香川県設計事務所協会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
岡 伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社 取締役社長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
久米 繁美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス 部長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
鶴川 信一郎	株式会社ウィザード	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
井手 優美	株式会社白泉社 マンガPark	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
瀧下 直樹	株式会社ジーン	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
森川 和哉	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
加藤 猛	学校法人穴吹学園 高松	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
佐戸 三千代	穴吹教育総合研究所	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
西尾 通哲	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
南 敦子	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
松尾 誠司	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
高橋 潤	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
中田 忠志	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
眞鍋 量臣	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
長川 信也	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 (年間の開催数及び開催時期) 年2回 (11月、3月) (開催日時(実績)) 第1回 令和5年11月7日(火)15:30～16:30 第2回 令和6年3月15日(金)11:00～12:00		
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。 インターンシップ実施の提言を踏まえて、希望者にインターンシップを実施		
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係		
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。		
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 学生が授業で身につけた知識や技術を活かし、企業等からの依頼のあったポスターなどの作品制作を連携科目の授業で行う。授業の前に、企業担当者が依頼作品についてのプレゼンテーションを行う。学習成果の評価については、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。 作品について企業等から講評・評価を頂くことで、学生の作品制作技術力アップと作品制作時のスケジュール管理など、プロのデザイナーとして必要なスキルを身につける。		
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
クライアントワークⅠ	クライアントの要望を理解し、それに応じた制作を行う。 受注内容を深掘りし、自らコンセプトや制作意図を考えて制作する。	丸亀商工会議所、高松北警察署、一般社団法人香川宅建、株式会社地方創生、JR四国ステーション開発株式会社
クライアントワークⅡ	クライアントの要望を理解し、それに応じた制作を行う。 受注内容を深掘りし、自らコンセプトや制作意図を考えて制作する。	丸亀商工会議所、高松北警察署、一般社団法人香川宅建、株式会社地方創生、JR四国ステーション開発株式会社
グラフィック基礎Ⅰ	グラフィックデザインの役割や、グラフィック表現における構成要素を理解し、コンセプト立案から作品制作、プレゼンテーションまでを経験する	丸亀商工会議所、高松北警察署、一般社団法人香川宅建、株式会社地方創生、JR四国ステーション開発株式会社
DTP応用	デザインデータの仕組みと特殊印刷・加工のデータ制作方法を習得するとともにDTP業界でのデータを活用した業務の広がりや展開方法を学ぶ	丸亀商工会議所、高松北警察署、一般社団法人香川宅建、株式会社地方創生、JR四国ステーション開発株式会社
DTP実務	企画からデザイン及び印刷用の入稿データ制作までの一連のDTPワークフローを学ぶ	丸亀商工会議所、高松北警察署、一般社団法人香川宅建、株式会社地方創生、JR四国ステーション開発株式会社
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教員は教職員研修規定に従い、デザイン業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が修得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技術の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。		

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教員は教職員研修規定に従い、デザイン業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が修得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技術の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。		
(2)研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	Font College Open Campus 14	連携企業等: 株式会社モリサワ
期間:	令和6年6月20日(水)	対象: 学科教員
内容	フォントを“必殺技”にするデザインの作り方	
研修名:	[TooxAdobeセミナー][オンライン]	連携企業等: 株式会社Too
期間:	令和6年8月28日(水)	対象: 学科教員
内容	アドビ製品を活用した神山まるごと高専のデザイン授業	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	ICT活用中級研修	連携企業等: イーディーエル株式会社
期間:	令和6年4月3日(水)	対象: 全教員
内容	具体的な使用シーンをイメージしながらGoogle Workspace主要アプリの基本操作を学習	
研修名:	非認知能力養成勉強会	連携企業等: 穴吹学園(本部)
期間:	令和6年9月12日(木)	対象: 全教員
内容	非認知能力の伸ばし方	
研修名:	Google for Education活用セミナー	連携企業等: ミカサ商事株式会社
期間:	令和6年8月3日(水)	対象: 全教員
内容	校務の効率アップ! Google スプレッドシート 実践活用法	
(3)研修等の計画		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	Adobeオンラインセミナー	連携企業等: アドビ株式会社
期間:	開催時に随時受講	対象: 学科教員
内容	Adobe製品に関するオンラインセミナー	
研修名:	Font College Open Campus [オンライン]	連携企業等: 株式会社モリサワ
期間:	開催時に随時受講	対象: 学科教員
内容	フォントに関するオンラインセミナー	
研修名:	TooxAdobeセミナー [オンライン]	連携企業等: 株式会社Too
期間:	開催時に随時受講	対象: 学科教員
内容	Adobe製品の活用に関するオンラインセミナー	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	Google for Education活用セミナー	連携企業等: ミカサ商事株式会社
期間:	開催時に随時受講	対象: 全教員
内容	Google for Educationの活用に関するセミナー	
研修名:	非認知能力養成勉強会	連携企業等: 穴吹学園(本部)
期間:	開催時に随時受講	対象: 全教員
内容	非認知能力の伸ばし方	

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることにより人材の育成に努める。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等
(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、等
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
鉄川 裕崇	香川県設計事務所協会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	業界団体委員
岡 伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社 取締役社長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
久米 繁美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス 部長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
鶴川 信一郎	株式会社ウィザード	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
井手 優美	株式会社白泉社 マンガPark	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
瀧下 直樹	株式会社ジーン	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
森川 崇		令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	元高校関係委員
金子 達雄	香川県立高松工芸高等学校	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高校関係委員
岩崎 浩明	香川県立善通寺第一高等学校	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高校関係委員
入宮 小夜子	専門学校穴吹デザインカレッジ保護者会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	保護者代表委員
田村 享昭	タムラデザイン	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 (ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) URL: https://web.anabuki-college.net/disclosure/#design 公表時期: 令和6年11月1日	
5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係	
(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針 企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。	
(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3)情報提供方法 (ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) URL: https://web.anabuki-college.net/disclosure/#design 公表時期: 令和6年11月1日	

授業科目等の概要

(工業専門課程 グラフィックデザイン学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			Illustrator 基礎	グラフィックデザインにおけるIllustratorの機能と基本的な操作を学ぶ	1前	60			○		○		○		
2	○			Photoshop 基礎Ⅰ	グラフィックデザインにおけるPhotoshopの基礎を実習を通して学ぶ	1前	30			○		○		○		
3	○			Photoshop 基礎Ⅱ	グラフィックデザインにおけるPhotoshopの基礎を実習を通して学ぶ	1後	30			○		○		○		
4	○			DTP基礎	DTP（デスクトップパブリッシング）について見聞を広げ、基礎知識を学ぶ	1前	30			○		○		○		
5	○			DTP実践	DTPの仕組みについて学び、正しい情報の整理を行えることを目的とし展開する	1後	60			○		○		○		
6	○			Indesign演習	Adobe InDesignの基本操作及びページ物の基礎を作品制作を通して学ぶ	1後	30			○		○		○		
7	○			グラフィック基礎Ⅰ	グラフィックデザインの役割や、グラフィック表現における構成要素を理解し、コンセプト立案から作品制作、プレゼンテーションまでを経験する	1前	60			○		○			○	○
8	○			グラフィック基礎Ⅱ	グラフィックデザインの役割や、グラフィック表現における構成要素を理解し、コンセプト立案から作品制作、プレゼンテーションまでを経験する	1後	60			○		○			○	○
9	○			ベーシック・デザイン	講義及び課題制作を通して、平面造形の基礎的な知識と技能を習得する。	1前	60			○		○			○	
10	○			Webデザイン基礎	WebサイトとWebデザインについての知識を学び、Webデザイナー検定合格を目指す	1前	30			○		○		○		
11	○			Webコーディング基礎Ⅰ	HTMLとCSSの基本を学習する	1前	30			○		○		○		

12	○		Webコーディング基礎Ⅱ	HTMLとCSSの基本を学習する	1後	30			○		○		○				
13	○		色彩計画	グラフィックデザイナーとして効果的なカラーコーディネーションを行うために、まず色の性質を知り、配色の基本を学ぶ。また、検定対策を行い色彩検定3級の取得を目指す。(希望者は2級習得も目指す)	1前	30			○		○		○				
14	○		3D演習	Blenderを使用した3DCGモデリング手法を学ぶ。	1後	30			○		○		○				
15	○		アイデア発想法	脳のメカニズムを知る事で効率よくアイデア発想を行えるポイントを理解し、日々のトレーニングを続けて右脳を活性化する。	1前	30			○		○		○				
16	○		グラフィックデザイン概論	グラフィックデザインが持つ社会的役割を理解し、企画に必要なアイデアや様々なビジュアル要素への理解を深める。	1前	30			○		○				○		
17	○		社会人基礎講座Ⅰ	卒業後に社会人として活動するためのコミュニケーション力やマナーを学ぶ。言葉で理解するだけではなく、実践を通して能力を向上させる。	1前	30			○		○		○				
18	○		コピー概論	多くのCM作品などを見ることで、クリエイティブすること、表現することに興味を持ち、言葉の楽しさと奥深さ、広がり、大切さを理解する。	1前	30			○		○				○		
19	○		クライアントワークⅠ	クライアントの要望を理解し、それに応じた制作を行う。受注内容を深掘りし、自らコンセプトや制作意図を考えて制作する。	1前	30			○		○				○	○	
20	○		DTV演習	映像作品を制作する上で必要な絵コンテの作成や映像加工ソフト「Adobe Aftereffects」の操作など、基本的技術を習得する。	1後	30			○		○		○				
21	○		プランニング概論	現在の市場、生活者の動向などマーケットの概要を学び、企画に役立つ情報や知識、理論を理解する。また、著名なクリエイター、マーケッター別に、課題へのアプローチの方法とプレゼン思考を養う。	1後	30			○		○				○		
22	○		修了制作	2月に実施される作品展示会「デザイン展」に向けてポスターを基本とした作品を制作する。テーマに対し、企画・コンセプトを十分に練った上で制作、プレゼンを実施する。	1後	70			○		○		○				
23	○		社会人基礎講座Ⅱ	就職活動において必要な心得やスキルが取得できる。動画で要点を学び、宿題を通じて問題や課題を発見し、授業で解決していく。	2前	30			○		○		○				
24	○		GD演習	デザイナーとして必要な、クライアント要求に自分のオリジナリティを持って最適なアイデア、ビジュアルソリューション提案を体験する。JAGDA国際学生ポスターアワード・ニ科展デザイン部で入賞・入選を目指す。	2前	60			○		○				○		

25	○		C I 演習	市場背景を考えながらビジュアル作成をする。企業の情報を調査して、市場におけるコンセプトを構築し、デザインに反映させる。	2 後	60			○		○			○	
26	○		アドバタイジング	「広告」の現状に即した、より実践に役立つ企画表現技術を学ぶ	2 前	60			○		○			○	
27	○		コミュニケーションデザイン	デジタルマーケティングの基礎を理解するとともに、コミュニケーションをデザインする	2 後	60			○		○			○	
28	○		D T P 応用	デザインデータの仕組みと特殊印刷・加工のデータ制作方法を習得するとともにDTP業界でのデータを活用した業務の広がりや展開方法を学ぶ	2 前	60			○		○		○		○
29	○		D T P 実務	企画からデザイン及び印刷用の入稿データ制作までの一連のDTPワークフローを学ぶ	2 後	60			○		○		○		○
30	○		卒業制作	テーマに対し、企画・コンセプトを十分に練った上で2年間の集大成といえる作品の制作、プレゼンを実施する。デザイン展での発表を行い外部評価を得る。	2 後	70			○		○		○		
31	○		クライアントワークⅡ	クライアントの要望を理解し、それに応じた制作を行う。受注内容を深掘りし、自らコンセプトや制作意図を考えて制作する。	2 前	30			○		○			○	○
32	○		グッズデザイン演習Ⅰ	身近にあるモノをより良いモノにデザインし、こんなのあったらいいなと思うモノを考え、オリジナルグッズやパッケージ、カレンダーなどの商品企画に取り組む。また地域の特産品をブランディングし、トータルデザイン展開の手法を身につける。	2 前	30			○		○		○		
33	○		グッズデザイン演習Ⅱ	身近にあるモノをより良いモノにデザインし、こんなのあったらいいなと思うモノを考え、オリジナルグッズやパッケージ、カレンダーなどの商品企画に取り組む。また地域の特産品をブランディングし、トータルデザイン展開の手法を身につける。	2 後	30			○		○		○		
34		○	イラストレーションⅠ	商業イラストの仕事について理解を深め、求められるイラストおよび考え方、技術を学び絵を描く仕事に必要な事を学習する。	2 前	60			○		○			○	
35		○	イラストレーションⅡ	商業イラストの仕事について理解を深め、求められるイラストおよび考え方、技術を学び絵を描く仕事に必要な事を学習する。	2 後	60			○		○			○	
36		○	グラフィックワークⅠ	グラフィックデザインで何ができるか？何がしたいか？を考え実践する	2 前	60			○		○			○	
37		○	グラフィックワークⅡ	グラフィックデザインで何ができるか？何がしたいか？を考え実践する	2 後	60			○		○			○	

38		○	絵本制作演習Ⅰ	絵本制作を通して、伝えたいメッセージを掘り下げ、自分の絵を追求し、自分らしい表現をする。	2 前	30			○		○			○	
39		○	絵本制作演習Ⅱ	一冊の本を作り上げていく事で、自分の表現する世界をわかりやすく伝えることができる力を身につける。	2 後	30			○		○			○	
40		○	D T V 応用Ⅰ	デジタル動画作成により絵の視覚的な効果表現方法を身につける グループ制作による個人の役割を知る	2 前	60			○		○		○		
41		○	D T V 応用Ⅱ	デジタル動画作成により絵の視覚的な効果表現方法を身につける グループ制作による個人の役割を知る	2 後	60			○		○		○		
42		○	W e b デザイン応用	HTMLとCSSの基本に加え、より高度なサイト制作技術を習得する	2 前	60			○		○		○		
43		○	W e b デザイン実務	Webデザイナー・コーダーとしての実務に役立つ技術を学ぶ	2 後	60			○		○		○		
44		○	Web マーケティングⅠ	各種SNSの特徴や活用方法を学び、情報発信力を身につけ、自ら投稿し、結果（インサイト）を分析し、改善を重ねることでインフルエンサーとしての情報発信力を身につける。	2 前	30			○		○		○		
45		○	Web マーケティングⅡ	各種SNSの特徴や活用方法を学び、情報発信力を身につけ、自ら投稿し、結果（インサイト）を分析し、改善を重ねることでインフルエンサーとしての情報発信力を身につける。	2 後	30			○		○		○		
合計				45 科目			1700 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： ①全科目の成績評価がすべてC以上であること ②年間出席率80%以上		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 講義：指定されたテキストに沿って学習。定期試験に合格すれば履修完了となる。 演習：テーマに基づき課題を制作・提出。合格すれば履修完了。		1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
専門学校穴吹デザインカレッジ		平成4年3月24日		森川 和哉		〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-6600		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日		穴吹 忠嗣		〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-2266		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
工業	工業専門課程		トータルインテリア学科		平成17(2005)年度	-	平成26(2014)年度	
学科の目的	快適な住まい、空間をデザインするインテリア・ビジネスのスペシャリストとしての、基礎知識・技術を習得し、インテリアコーディネーター、ディスプレイデザイナー、家具デザイナー等、業界の第一線で活躍できる人材を育成する。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能資格:文部科学省後援 色彩検定 日本インテリア設計士協会 インテリア設計士資格検定試験 公益社団法人インテリア産業協会 インテリアコーディネーター資格試験							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	1,700 単位時間	498 単位時間	1,202 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)			
50 人	24 人		2 人		8 %			
就職等の状況	■卒業者数(C)		26 人					
	■就職希望者数(D)		25 人					
	■就職者数(E)		25 人					
	■地元就職者数(F)		22 人					
	■就職率(E/D)		100 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		22 %					
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		96 %					
	■進学者数		0 人					
	■その他							
	(令和 5 年度卒業者に関する令和 6 年 5 月 1 日時点の情報)							
■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 建築施工会社 インテリアショップ								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 香川県設計事務所協会 受審年月: 2023年11月 評価結果を掲載したホームページURL https://web.anabuki-college.net/disclosure/#design							
当該学科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/design/total-interior-design/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数				1,700 単位時間			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				358 単位時間			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				358 単位時間			
	うち必修授業時数				358 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				0 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				358 単位時間			
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				0 単位時間			
	(B: 単位数による算定)							
	総授業時数				単位			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				単位			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				単位			
	うち必修授業時数				単位			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				単位			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				単位			
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				単位			
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)				0 人			
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)				1 人			
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)				1 人			
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)				0 人			
	計				2 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				1 人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

インテリアコーディネーター、ディスプレイデザイナー、家具デザイナーとして必要な基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につける。その過程で身につけた知識や技術を企業等から依頼があった作品制作に対し評価を頂き、社会に出て通用する人材を養成することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。デザイン業界や企業等に依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善検討を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案を編成しそれを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
鉄川 裕崇	香川県建築士事務所協会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
岡 伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
久米 繁美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
鶴川 信一郎	株式会社ウィザード	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
井手 優美	株式会社百泉社 マンガPark	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
瀧下 直樹	株式会社ジーン	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
森川 和哉	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
加藤 猛	学校法人 穴吹学園 高松	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
佐戸 三千代	穴吹教育総合研究所	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
西尾 通哲	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
南 敦子	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
松尾 誠司	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
高橋 潤	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
中田 忠志	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
眞鍋 量臣	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
長川 信也	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (11月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年11月7日(火)15:30～16:30

第2回 令和6年3月15日(金)11:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。 インターンシップ実施の提言を踏まえて、希望者にインターンシップを実施		
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係		
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。		
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 学生が授業で身につけた知識や技術を活かし、企業等からの依頼のあったインテリアやディスプレイなどの作品制作を連携科目の授業で行う。授業の前に、企業担当者が依頼作品についてのプレゼンテーションを行う。学習成果の評価については、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。 作品について企業等から講評・評価を頂くことで、学生の作品制作技術力アップと作品制作時のスケジュール管理など、プロのデザイナーとして必要なスキルを身につける。		
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
スペースデザイン演習	グループ制作で実在の空間のプラン、制作、運営を行い技術の向上を目指す。	株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク、丸亀商工会議所
創造制作演習	構造・かたち・機能性を理解しプランニング、創造を形にする	株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク、丸亀商工会議所
コンペ演習	建築、インテリア、プロダクトなどのコンペティションに挑戦し、完成とスキルを向上する。	株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク、丸亀商工会議所
総合デザイン	他学科他学年の学生と総合的なデザインの企画及び制作を通してコミュニケーション能力とプレゼン力を身につける。	株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク、丸亀商工会議所
コーディネート演習	商店への提案など実務に役立つ案件の設定での演習を行う。	株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク、丸亀商工会議所
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教員は教職員研修規定に従い、デザイン業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が修得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技術の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。		
(2)研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	3Dスキルを身につけてビジュアライゼーションを最大化	連携企業等: 株式会社Too
期間:	令和6年8月	対象: 学科教員
内容:	3D画像を制作しデザインに利用するためのノウハウを学。	
研修名:	マーケティング人材育成プログラム	連携企業等: 株式会社グロースX
期間:	令和5年7月ー令和6年7月	対象: 学科教員
内容:	業務におけるマーケティング知識を学ぶ。	

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	非認知能力養成講座	連携企業等:	岡山大学 中山芳一准教授
期間:	令和6年9月	対象:	教職員
内容	非認知能力の知識、育成に向けた取り組みについて学ぶ。		

研修名:	コンプライアンス研修	連携企業等:	学校法人 穴吹学園
期間:	令和6年9月	対象:	教職員
内容	ハラスメント被害についての理解促進。		

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	生成AI「Adobe Firefly」の活用方法と最新機能	連携企業等:	株式会社Too
期間:	令和6年10月	対象:	学科教員
内容	Adobe Fireflyの使用方法和デザインへの利用について学ぶ。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	授業改善サポーター養成	連携企業等:	一般社団法人 全国専門学校教育研究会
期間:	令和6年11月～12月	対象:	教職員
内容	授業改善サポーターとしての、各種ツールを活用した授業改善について学ぶ。		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等
(2) 学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等
(3) 教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等
(4) 学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5) 学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等
(6) 教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等
(7) 学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等
(8) 財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9) 法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、等
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
鉄川 裕崇	香川県建築士事務所協会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	業界団体委員
岡 伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
久米 繁美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
鶴川 信一郎	株式会社ウィザード	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
井手 優美	株式会社白泉社 マンガPark	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
瀧下 直樹	株式会社ジーン	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
森川 崇		令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	
金子 達雄	香川県立高松工芸高等学校	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高校関係委員
岩崎 浩明	香川県立善通寺第一高等学校	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高校関係委員
入宮 小夜子	専門学校穴吹デザインカレッジ保護者会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	保護者代表委員
田村 享昭	タムラデザイン	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生代表

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/disclosure/#design>□

公表時期: 令和6年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/disclosure/#design>□

公表時期: 令和6年11月1日

授業科目等の概要

(工業専門課程 トータルインテリア学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			I C 基礎 I	インテリアエレメントについて学ぶ	1 通	48		○			○			○	
2	○			I C 基礎 II	インテリア計画・人間工学について学ぶ	1 通	48		○			○			○	
3	○			色彩計画	検定対策（色彩の基礎知識を身につける）	1 通	60		○			○			○	
4	○			パース演習	1点透視図の作図法・色鉛筆での着彩技術の習得	1 通	72			○		○			○	
5	○			I C 基礎演習 I	インテリア設計士（学科）合格に合格する為の知識を身に付ける	1 前	36			○		○			○	
6	○			I C 基礎演習 II	インテリア設計士（実技）合格に合格する為の技術を身に付ける	1 前	36			○		○			○	
7	○			造形演習	ディスプレイの基礎知識を学び、グループ制作を通して技術を身につけると共に協調性を養う	1 通	120			○		○			○	
8	○			MA C 演習	パソコンの基礎技術の習得、イラストレーターの技術習得	1 通	60			○		○			○	
9	○			プランニング演習	オリジナルデザインの店舗、の計画・提案	1 通	148			○		○			○	
10	○			インテリア製図	〇〇〇〇〇手書き手法で、立体物を平面で表現する技術の習得	1 前	24			○		○			○	
11	○			モデリング	実際のミニチュアサイズを制作し 3 D 感覚を養う	1 前	24			○		○			○	
12	○			総合デザイン I	産学連携企画等、グループ制作を通して総合力を身につける	1 前	24			○		○			○	○

13	○		総合デザインⅡ	産学連携企画等、グループ制作を通して総合力を身につける	1後	24		○	○		○	○
14	○		スペースデザイン演習Ⅰ	クライアントを設定した実践的な制作	1後	30		○	○		○	○
15	○		社会人基礎講座Ⅰ	就職活動に向けての心構え、履歴書、自己PR作成	1後	24	○		○	○		
16	○		作品展示計画Ⅰ	実践を通して空間デザインのノウハウを身につける	1後	24		○	○		○	
17	○		CAD演習	JWCADを使って2次元作図法の技術習得	1後	48		○	○		○	
18	○		社会人基礎講座Ⅱ	就職活動に向けての心構え、履歴書、自己PR作成	2通	48	○		○	○		
19	○		IC販売	商品販売の基礎知識【office含む】	2前	30	○		○		○	
20	○		コンペ演習	クライアントを設定した実践的な制作	2前	30		○	○		○	○
21	○		3DCG演習	3Dソフトを使って設計図の3次元化の技術を身につける	2通	96		○	○		○	
22	○		スペースデザイン演習Ⅱ	クラス全員のグループ制作と捉え実在空間のプラン・制作・運営を行う	2後	60		○	○		○	○
23	○		総合デザインⅢ	産学連携企画等、グループ制作を通して総合力を身につける	2前	24		○	○		○	○
24	○		総合デザインⅣ	産学連携企画等、グループ制作を通して総合力を身につける	2後	24		○	○		○	○
25	○		作品展示計画Ⅱ	実践を通して空間デザインのノウハウを身につける	2後	24	○		○		○	
26		○	IC概論Ⅰ	検定対策（住宅環境、設備について）【設備】	2通	48		○	○		○	
27		○	IC法規	検定対策（建築の法規について）	2前	24		○	○		○	

28		○	I C 構造	建築の基本的な構造について	2 通	48			○		○			○	
29		○	I C 材料	建築の基本的な材料について【環境】	2 通	48			○		○			○	
30		○	I C 施工	検定対策（建築の基本的な工法について）	2 後	24			○		○			○	
31		○	インテリア設計	自由な発想で2年間の集大成として相応しい作品制作	2 通	178			○		○			○	
32		○	コーディネート演習	実務に役立つ案件の設定での演習	2 前	48			○		○			○	
33		○	S P 演習	建築、インテリア設計のプロセスを理解しプランニング能力を向上させる	2 通	96			○		○			○	
34		○	家具デザイン概論	木材の知識、機械・工具の知識習得	2 通	54		○			○			○	
35		○	家具デザイン演習	コンセプト設定から実制作までの一連の流れを習得	2 通	132			○		○			○	
36		○	創造制作演習	構造・かたち・機能性を理解しプランニングし、創造を形にする	2 通	136			○		○			○	○
37		○	LS概論	リビングスタイリスト検定合格を目指す	2 前	48		○			○			○	
38		○	家具技能演習	家具の仕口、継手等基本を学び技能検定3級取得を目標とする	2 通	96			○		○			○	
合計				38 科目			1700 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： ①全科目の成績評価がすべてC以上であること ②年間出席率80%以上		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 講義：指定されたテキストに沿って学習。定期試験に合格すれば履修完了となる。 演習：テーマに基づき課題を制作・提出。合格すれば履修完了。		1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地					
専門学校穴吹デザインカレッジ		平成4年3月24日		森川和哉		〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 082-823-6600					
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地					
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日		穴吹 忠嗣		〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-2266					
分野		認定課程名		認定学科名		専門士認定年度		高度専門士認定年度		職業実践専門課程認定年度	
文化・教養		文化教養専門課程		マンガ・コミックイラスト学科		平成20(2008)年度		-		平成26(2014)年度	
学科の目的		マンガのストーリー構成、企画、表現を学び、マンガ雑誌に投稿できるまでの知識、技術を身に付けた人材の育成や、様々な画材の基礎的な技術を習得し、表現力豊かなイラスト制作ができる人材を育成する。									
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)		色彩検定									
修業年限		昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技		
2年		昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	1,700 単位時間 0 単位	120 単位時間 0 単位	1,580 単位時間 0 単位	0 単位時間 0 単位	0 単位時間 0 単位	0 単位時間 0 単位	0 単位時間 0 単位	
生徒総定員		生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)					
50 人		28 人		0 人		0 %					
就職等の状況		■卒業者数(C) : 16 人 ■就職希望者数(D) : 11 人 ■就職者数(E) : 11 人 ■地元就職者数(F) : 11 人 ■就職率(E/D) : 100 % ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 69 % ■進学者数 : 1 人 ■その他 プロのマンガ家やイラストレーターを目指すため自主活動 (令和5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 印刷業界、サービス業									
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体 : 受審年月 : 評価結果を掲載したホームページURL					無				
当該学科のホームページURL		URL・ https://web.anabuki-college.net/department/design/comic-illustration/									
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)		(A: 単位時間による算定) 総授業時数 1,700 単位時間 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した演習の授業時数 210 単位時間 うち必修授業時数 210 単位時間 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 210 単位時間 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 0 単位時間 (B: 単位数による算定) 総授業時数 0 単位 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 0 単位 うち企業等と連携した演習の授業時数 0 単位 うち必修授業時数 0 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 0 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 0 単位									
教員の属性(専任教員について記入)		① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 1 人 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 3 人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 1 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人 計 5 人 上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数 1 人									

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

マンガ、イラスト、ポスター制作等のマンガ家、イラストレーターとして必要な基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につける。その過程で身につけた知識や技術を企業等から依頼があった作品制作に対し評価を頂き、社会に出て通用する人材を養成することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。デザイン業界や企業等に依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善検討を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案を編成しそれを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
鉄川 裕崇	香川県設計事務所協会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
岡 伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
久米 繁美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス 部長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
鶴川 信一郎	株式会社ウィザード	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
井手 優美	株式会社白泉社 マンガPark	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
瀧下 直樹	株式会社ジーン	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
森川和哉	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
加藤 猛	学校法人穴吹学園 高松	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
佐戸 三千代	穴吹教育総合研究所	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
西尾 通哲	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
南 敦子	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
松尾 誠司	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
高橋 潤	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
中田 忠志	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
眞鍋 量臣	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
長川 信也	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (11月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年11月7日(火)15:30～16:30

第2回 令和6年3月15日(金)11:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

インターンシップ実施の提言を踏まえて、希望者にインターンシップを実施

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学生が授業で身につけた知識や技術を活かし、企業等からの依頼のあったポスターなどの作品制作を連携科目の授業で行う。授業の前に、企業担当者が依頼作品についてのプレゼンテーションを行う。学習成果の評価については、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。

作品について企業等から講評・評価を頂くことで、学生の作品制作技術力アップと作品制作時のスケジュール管理など、プロのデザイナーとして必要なスキルを身につける。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン実務演習Ⅰ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意図に沿った作品とは何かを考え、実践できるようになる。	讃岐石材加工協同組合
デザイン実務演習Ⅱ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意図に沿った作品とは何かを考え、実践できるようになる。	一般社団法人香川宅建
デザイン実務演習Ⅲ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意図に沿った作品とは何かを考え、実践できるようになる。	坂出市役所
デザイン実務演習Ⅳ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意図に沿った作品とは何かを考え、実践できるようになる。	坂出市役所
コミックアート演習Ⅲ・Ⅳ	学年合同で総合的なデザインの企画及び制作を通してコミュニケーション能力とプレゼン力を身につける。	ときこす実行委員会

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は教職員研修規定に従い、デザイン業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が修得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技術の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は教職員研修規定に従い、デザイン業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が修得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技術の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	WCCCクリエイティブコラボウェビナー「最新TVアニメを手がけるアニメスタジオが語るデジタル化と採用の取り組み」	連携企業等: WCCC(株)ワコム)
期間:	2024年5月10日(金) 17:30～19:00	対象: 学科教員
内容:	オンラインによる「最新TVアニメを手がけるアニメスタジオが語るデジタル化と採用の取り組み」について	

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	ICT活用研修	連携企業等: EDL(株)提供 教育DX研修
期間:	2024年4月3日(水)13:30～16:30	対象: 教職員
内容:	Googleclassroom、スライド、フォーム等の使い方講座	
研修名:	瀬戸内未来共創プロジェクト特別講義「未来へのステップ 学びと成長の旅 ～瀬戸内未来共創が考える「働く」とは	連携企業等: 学校法人穴吹学園
期間:	2024/4/17(水) 15:30～17:00	対象: 教職員
内容:	「働くこと」についての大西先生による講座およびワークショップ	

(3)研修等の計画			
①専攻分野における実務に関する研修等			
研修名:	WCCCクリエイティブコラボウェビナー「国産webtoonでヒット作を生む秘訣と今後の人材採用について」	連携企業等:	株式会社ワコム
期間:	2024年9月18日(水)17:30～19:00	対象:	学科教員
内容	作品の制作秘話やスタジオクルー募集に関する最新情報		
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	非認知能力養成勉強会	連携企業等:	中山芳一×穴吹学園
期間:	2024年9月12日(木)	対象:	教職員
内容	授業の中でも認知能力と非認知能力を一体的に育成していくという考え方を学ぶ		
4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1)学校関係者評価の基本方針			
教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることにより人材の育成に努める。			
(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目		学校が設定する評価項目	
(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等		
(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等		
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等		
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等		
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等		
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等		
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等		
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等		
(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等		
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、等		
(11)国際交流	台湾銘傳大学との文化交流		
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3)学校関係者評価結果の活用状況			
学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。			
(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
名 前	所 属	任期	種別
鉄川 裕崇	香川県設計事務所協会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	業界団体委員
岡 伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
久米 繁美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス 部長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
鶴川 信一郎	株式会社ウィザード	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
井手 優美	株式会社白泉社 マンガPark	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
瀧下 直樹	株式会社ジーン	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
森川 崇		令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	元高校関係委員
金子 達雄	香川県立高松工芸高等学校	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高校関係委員
岩崎 浩明	香川県立善通寺第一高等学校	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高校関係委員
入宮 小夜子	専門学校穴吹デザインカレッジ保護者会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	保護者代表委員
田村 享昭	タムラデザイン	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生代表
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。			
(例)企業等委員、PTA、卒業生等			

公表時期: 令和6年11月1日

公表時期: 令和6年11月1日

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 マンガ・コミックイラスト学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			イラスト演習Ⅰ	スケッチの基本であるマーカーを使用し、プロポーション・質感表現・陰影法・マーカーテクニックを習得する。	1前	60			○		○		○		
2	○			イラスト演習Ⅱ	CLIPSTUDIOを使用しデジタルでのマンガ制作を習得する。	1後	30			○		○		○		
3	○			デザイン実務演習Ⅰ	スケッチの基本であるマーカーを使用し、プロポーション・質感表現・陰影法・マーカーテクニックを習得する。	1前	30			○		○		○		○
4	○			デザイン実務演習Ⅱ	スケッチの基本であるマーカーを使用し、プロポーション・質感表現・陰影法・マーカーテクニックを習得する。	1後	30			○		○		○		○
5	○			DTP演習Ⅰ	デジタル基礎として主にDTP作業に必要なIllustrator及びPhotoshopの基礎知識、技術、さまざまなルールについて、課題の制作を通して習得する。	1前	30			○		○		○		
6	○			DTP演習Ⅱ	デジタル基礎として主にDTP作業に必要なIllustrator及びPhotoshopの基礎知識、技術、さまざまなルールについて、課題の制作を通して習得する。	1後	30			○		○		○		
7	○			ドローイングテクニックⅠ	マンガ制作において重要な要素である技術やテクニック、道具の使い方などの基本を理解する。	1前	60			○		○		○		
8	○			ドローイングテクニックⅡ	スクリーン톤テクニック、パースの描写などの立体的な背景が描けるようになるために技術を習得する。	1後	60			○		○		○		
9	○			色彩計画	感覚や好き嫌いだけでなく色彩理論に沿った色使いができる知識を養う。	1前	30		○			○		○		
10	○			ストーリーテクニックⅠ	マンガ制作において重要な要素である技術やテクニック、道具の使い方、キャラクター作り、ストーリー作りを学ぶ。	1前	60			○		○			○	
11	○			ストーリーテクニックⅡ	マンガ制作において重要な要素である技術やテクニック、道具の使い方、キャラクター作り、ストーリー作りを学ぶ。	1後	60			○		○			○	
12	○			修了制作	デザイン展での発表に向けての作品制作。テーマに沿ったプロット制作、ラフ案からの制作。	1後	40			○		○		○		
13	○			CG演習Ⅰ	CG作品を仕上げるために必要なソフトの基礎力の復習、及び応用力を養う。	1前	60			○		○		○		

14	○		CG演習Ⅱ	CG作品を仕上げるために必要なソフトの基礎力の復習、及び応用力を養う。	1後	60			○	○	○				
15	○		イラストレーションⅠ	様々なイラストレーションの実用法を学び、実戦に役立つ技術を身につける。	1前	60			○	○			○		
16	○		イラストレーションⅡ	様々なイラストレーションの実用法を学び、実戦に役立つ技術を身につける。	1後	60			○	○			○		
17	○		office演習Ⅰ	Microsoft office specialist Excel 2016取得を目指す	1前	30			○	○			○		
18	○		office演習Ⅱ	Microsoft office specialist Excel 2016取得を目指す	1後	30			○	○			○		
19	○		社会人基礎講座Ⅰ	社会人として必要不可欠なofficeソフトの技術習得およびMOSの取得を目標とする。	1後	30		○		○		○			
20	○		アニメーション演習Ⅰ	デジタル動画作成により絵の視覚的な効果表現方法を身に付け、グループ制作により個人の役割を知る。	2前	30			○	○		○			
21	○		アニメーション演習Ⅱ	デジタル動画作成により絵の視覚的な効果表現方法を身に付け、グループ制作により個人の役割を知る。	2後	30			○	○		○			
22	○		Web演習Ⅰ	Web制作に必要な知識全般を習得し、WordPressを利用した自分のサイトを制作する。	2前	60			○	○		○			
23	○		Web演習Ⅱ	Web制作に必要な知識全般を習得し、WordPressを利用した自分のサイトを制作する。	2後	30			○	○		○			
24	○		デザイン実務演習Ⅲ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意思に沿った作品とは何かを考える力を養う。またプレゼンテーション能力の向上を見に付けさせる。	2前	30			○	○		○		○	
25	○		デザイン実務演習Ⅳ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意思に沿った作品とは何かを考える力を養う。またプレゼンテーション能力の向上を見に付けさせる。	2後	30			○	○		○		○	
26	○		DTP演習Ⅲ	1年時に学んだ基礎をもとに、より応用的なDTPの作業を行いながら実践的なデザイン制作を学ぶ。	2前	60			○	○		○			
27	○		DTP演習Ⅳ	デザイン作成の具体的な手法を、実際の制作を通して学ぶ。	2後	60			○	○		○			
28		○	マンガテクニックⅢ	投稿作品を完成、雑誌新人賞に応募し入賞を目指す。	2前	60			○	○			○		
29		○	マンガテクニックⅣ	投稿作品を完成、雑誌新人賞に応募し入賞を目指すと共に、編集部への持ち込みも行う。	2後	70			○	○			○		
30		○	コミックイラスト演習Ⅰ	コミックイラストの制作と発表に求められるアイデアの発想法や、具体的な手段を理解し、テーマ公募や作品展のための作品を制作する。	2前	60			○	○			○		

[illegible]

(留意事項)

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。